
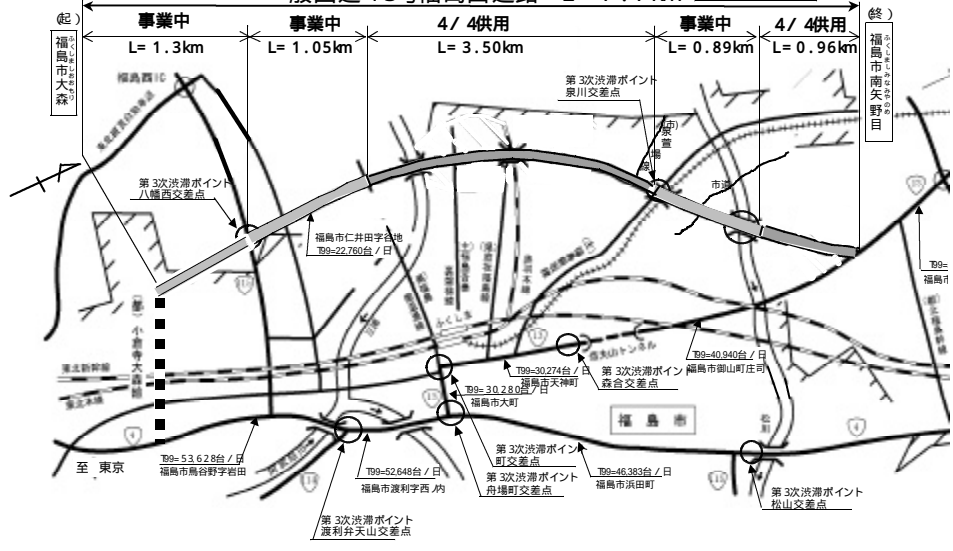


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道13号 福島西道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 東北地方整備局										
起終点 自：福島県福島市大森 至：福島県福島市南矢野目	延長 7.7 km											
事業概要 国道13号は、福島市を起点とし、山形、横手の各市を経て秋田市に至る総延長330kmの主要幹線道路で、福島県、山形県、秋田県の産業・経済・文化の交流を支える重要な幹線道路である。 福島西道路は、国道13号の交通混雑の緩和、及び沿道環境を改善することを目的とする道路である。												
S57年度事業化	S57年度都市計画決定	S59年度用地着手										
全体事業費 約620億円		事業進捗率 87%										
計画交通量 36,700台/日		供用済延長 6.4 km										
費用対効果分析結果	総費用 (残事業)/(事業全体) 66/833億円 (事業費：53/802億円) (維持管理費：13/31億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 557/1,597億円 (走行時間短縮便益：522/1,461億円) (走行費用減少便益：16/74億円) (交通事故減少便益：19/62億円)										
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（渋滞の緩和による中心市街地へのアクセス向上） ・生活環境の改善・保全（沿道の環境や景観を保全）		基準年 平成15年										
他17項目に該当												
関係する地方公共団体等の意見 福島西道路は、交通混雑緩和、沿道環境の改善等に重要な役割を果たすことが期待されており、福島西部環状道路建設促進期成同盟会(会長：福島商工会議所 会頭 坪井孚夫)より、早期整備の要望(平成15年7月9日)を受けている。												
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。												
事業の進捗状況、残事業の内容等 【執行済み額】 事業費：550億円(進捗率87% [暫定97%]) うち用地費：210億円(新得率93%)												
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・事業進捗に係る問題はなく順調に事業を進めている。 ・平成20年代前半の全線供用を目標に事業の推進を図る。												
施設の構造や工法の変更等 ・工期短縮に効果的で経済的でもあるプレキャスト製品の長尺化等、コストの縮減を図る。												
対応方針 事業継続												
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。												
事業概要図												
 <p style="text-align: center;">一般国道13号 福島西道路</p>	<p>一般国道13号 福島西道路 L=7.7km 事業再評価</p> 											
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="2">凡 例</th></tr> <tr><td>——</td><td>供 用 中</td></tr> <tr><td>■■■■</td><td>事 業 中</td></tr> <tr><td>▬▬▬</td><td>再評価箇所</td></tr> <tr><td>▬▬▬</td><td>うち供用中</td></tr> </table>	凡 例		——	供 用 中	■■■■	事 業 中	▬▬▬	再評価箇所	▬▬▬	うち供用中		
凡 例												
——	供 用 中											
■■■■	事 業 中											
▬▬▬	再評価箇所											
▬▬▬	うち供用中											

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

